

単元ごとに、「話す・聞く」「書く」「読む」いずれかの領域が設定されています。

# 一

## 知らないものに出会う

話す・聞く・読む

ぐうぜん、うたがう、読書のススメ

塩一トンの読書

学びを広げる この一冊を伝え合おう

コラム 読書は対話

若松英輔 28

川上未映子 10  
須賀敦子 18

目次 2

# 二

## 相手のことを考える

書く

水の東西

言語は色眼鏡である

学びを広げる 日本のお祭りはどういうものですか？

身近な日本文化を紹介しよう

生徒作品 折り紙

野矢茂樹 46

山崎正和 32  
野元菊雄 38

# 三

## 情報社会を生きる

読む

ネットが崩す公私の境

「選べる社会」の難しさ

情報と身体

学びを広げる 情報社会について考える

黒崎政男 54  
松田美佐 59

吉岡洋 65

# 四

## 言葉を見つめる

書く

辞書は生きている

アガルとノボル

学びを広げる オリジナル辞書を作ろう

コラム 言葉の海の航海 わがワードハンティング

見坊豪紀 86

飯間浩明 74  
柴田武 80

# 五

## ワールド・カフェ

話す・聞く

大切な会話―ワールド・カフェへの招待

学びを広げる ワールド・カフェをやってみよう

コラム 問題を発見するための「寝返り理論」

糸井重里 104

アニータ・ブラウン&デイビッド・アイザックス／香取一昭・川口大輔訳 90

# 六

## 思考の枠組みを広げる

読む

「見える文化」／「見えない文化」

ありのままの世界は見えない

コインは円形か

学びを広げる 相互理解を深めるために、今何が必要か考えよう

原沢伊都夫 108  
田中真知 112  
佐藤信夫 119

125

目次 3

国語学習の一丁目一番地である「言葉」について、辞書を絡めながら取り組む単元です。

1年生の新たなスタートと、新たな本との出会いがリンクする第一単元です。

# 七

## 科学技術と人間



人がアンドロイドとして甦る未来 アンドロイド基本原則  
人間にできて機械にできないこと

谷島貫太 128  
松田雄馬 138

学びを広げる

調べたことをレポートにまとめてみよう  
AIは仕事の未来を変えるのか

144  
146

# 八

## マイクロデバイス



自然をめぐる合意の設計  
マイクロデバイスとは

関礼子 150  
156

学びを広げる

マイクロデバイスをやってみよう  
ヒクマとどう共生するか(北海道新聞)の記事から

162  
163

# 九

## 生命について考える



生物と無生物のあいだ  
ヒトゲノムの意義

福岡伸一 168  
177

命は誰のものなのか

柳澤桂子 181  
186

学びを広げる

小論文を書いてみよう

# 十

## 多文化共生社会と「私」



対談 「国際貢献」ではなく「国際協力」である

緒方貞子・池上彰 190

「コラム」ガンベリ砂漠を目指せ——緑の大地を作る

中村哲 198

共生社会で求められる「相対的よそ者」の視点

森千香子 202  
207

グローバル化の光と影

小熊英二 212

学びを広げる

ポスターセッションで発表しよう

緒方貞子さんと池上彰さんによる対談を端緒に、**グローバル社会**における生き方について考えます。

### 資料編

表現の技法① 引用	216
表現の技法② 要約	217
表現の技法③ 調査	218
表現の技法④ 比較	219
表現の技法⑤ 論理構成	221
表現の技法⑥ 推論のための用語集	222
表現の技法⑦ 推敲	224

課題文型小論文	225
意見文を書く 新聞投書	230
原稿用紙の使い方	234
手紙の書き方	236
情報の収集と発信	238
話し合いの方法	240
表現テーマ例集	241
常用漢字表	242

### 読書の扉

126	30
148	52
166	72
188	85
214	96



教科書の凡例を提示しています。

この教科書を使うために

● 全体の構成

この教科書は、話す・聞く、書く、読む力をつける一から十の単元と、さまざまな言語活動で活用するための一資料編<sup>①</sup>で構成されている。

● 単元扉

単元および各教材の学習の目標と活動を示した。

● 各教材の下段の注欄には、次の項目を設けた。

◆ 脚注 1、2……の番号をつけ、固有名詞や難解な語句、理解の必要な言葉などを解説した。

◆ 脚問 内容理解の手がかりになる箇所<sup>①</sup>②……の番号をつけて、簡単な問いとして問1のように掲げた。

◆ 語句 \*をつけ、意味や用法に注意して身につけておきたい語句を抜き出して示した。

◆ 各教材の末には、次の項目を設けた。

◆ 課題 A 文章の内容を理解し、考え、言語活動への手がかりとなる問いを設けた。

◆ 課題 B 理解した文章の内容をふまえ、協働的、主体的にその理解をより深めるための学習課題を、問いや作業の示唆の形で盛り込んだ。

◆ 語句 教材中の語句に着目し、語彙力を高めるための

問いを設定した。

◆ 漢字 常用漢字の習得のために、教材中の注意すべき漢字を選び掲載した。

● 学びを広げる

各単元には、話す・聞く、書く、読む、それぞれの単元の目標に対応し、言葉の学びを協働的、主体的に深め、広げる言語活動を設けた。

● 単元の振り返り

各単元末には、各自で単元での学習を振り返って確認し、次の学習に生かしていくため、単元の振り返りを設けた。

● 読書の扉

読書に親しみ、読書活動を広げる手がかりとして、教材と関連のある書籍を選び、紹介した。

● 参照ページ・行

「課題 A」「課題 B」などで教材本文を引用する場合や、参照すべき箇所を示す場合、引用文の下に（31・10）をつけて示した。上の数字がページ、下の数字が行を示す。

● 二次元コード

適宜、二次元コードを付し、リンク先に

学習の参考となる情報を掲載した。



単元扉では教材一覧のほか、**単元および各教材のテーマ・学習のねらいを明示**しています。



# 相手のことを考える

読み手のことを考えて、「伝わる文章」を書いてみよう

書くこと



水の東西

比較という方法を理解し、文化について考える

言語は色眼鏡である

言語と認識の関係について考えを深める

学びを広げる

日本のお祭りはどういふものですか？

身近な日本文化を紹介しよう

生徒作品

折り紙

相手のことを考えて、内容や表現を工夫して紹介文を書いてみよう

山崎正和

野元菊雄

野矢茂樹

# 水の東西

山崎正和  
やまざき まさかず

「鹿おどし」<sup>1</sup>が動いているのを見ると、その愛嬌あいきょうの中に、なんとなく人生のけだるさのようなものを感じることがある。かわいらしい竹のシーソーの一端に水受けがついていて、それに笥かきの水が少しずつたまる。静かに緊張が高まりながら、やがて水受けがいっぱいになると、シーソーはぐらりと傾いて水をこぼす。緊張が一気にとけて水受けが跳ね上がる時、竹が石をたたいて、こおんと、くぐもつた優しい音をたてるのである。

見ていると、単純な、緩やかなリズムが、無限にいつまでも繰り返される。緊張が高まり、それが一気にほだけ、しかし何事も起こらない徒労たうらうがまた一から始められる。ただ、曇った音響が時を刻んで、庭の静寂と時間の長さをいやがうえにも引き立てるだけである。水の流れなのか、時の流れなのか、「鹿おどし」は我々に流れるものを感じさせる。それをせき止め、刻むことによって、この仕掛けはかえって流れてやまないもの

1 鹿おどし 庭園装置の一つ。本来は、その音で田畑を荒らす鹿や猪などを追い払うための仕掛け。「添水・しかおどし」ともいう。

2 笥 水を引いてくるために竹や木で削った樋。

問① 「それ」とは何を指すか。



参照リンク・動画などを視聴できます。

の存在を強調しているといえる。

私はこの「鹿おどし」を、ニューヨークの大きな銀行の待合室で見たことがある。日本の古い文化がいろいろと紹介される中で、あの素朴な竹の響きが西洋人の心をひきつけたのかもしれない。だが、ニューヨークの銀行では人々はあまりに忙しすぎて、一つの音と次の音との長い間隔を聴くゆとりはなさそうであった。それよりも窓の外に噴き

上げる華やかな噴水のほうが、ここでは水の芸術として明らかに人々の気持ちをくつろがせていた。

流れる水と、噴き上げる水。

そういえばヨーロッパでもアメリカでも、町の広場にはいたるところにみごとな噴水があった。ちよつと名のあ

る庭園に行けば、噴水はさまざまな趣向を凝らして風景の中心になっている。有名なローマ郊外のエステ家の別荘など、何百という噴水の群れが庭をぎっ



鹿おどし

文章の読みに集中できるように、脚注・語句は必要最小限にとどめています。

3 エステ家 一三世紀中頃から一八世紀末にかけて、北イタリアで勢力を誇った封建貴族。

\* 語句

愛嬌 徒労 趣向



エステ家の噴水



日本庭園（京都市・実光院）

効果的に写真を配置し、豊かな読解を助けます。

しりと埋めつくしていた。樹木も草花もここでは添え物にすぎず、壮大な水の造型がとどろきながら林立しているのには私は息をのんだ<sup>\*</sup>。それは揺れ動く、バロック彫刻さながらであり、ほとぼしるというよりは、音をたてて空間に静止しているように見えた。

時間的な水と、空間的な水。

そういうことをふと考えさせるほど、日本の伝統の中に噴水というものは少ない。せせらぎを作り、滝をかけ、池を掘って水を見ることはあれほど好んだ日本人が、噴水の美だけは近代に至るまで忘れていた。伝統は恐ろしいもので現代の都会でも、日本の噴水はやはり西洋のものほど美しくない。そのせいか東京でも大阪でも、町の広場はどことなく間が抜けて、表情に乏しいのである。

西洋の空気は乾いていて、人々が噴き上げる水を求めたということもあるだろう。<sup>5</sup>ローマ以来の水道の技術が、噴水を発達させるのに有利であったということも考えられる。だが、人工的な滝を作った日本人が、噴水を作らなかつた理由は、<sup>2</sup>そういう外面的な事情ばかりではなかつたように思われる。日本人にとって水は自然に流れる姿が美しいのであり、圧縮したりねじ曲げたり、粘土のように造型する対象ではなかつたのである。

言うまでもなく、水にはそれ自体として定まった形はない。そうして、形がないとい

<sup>4</sup> バロック baroque（フランス語）一六世紀末頃から一八世紀中頃にかけて、ヨーロッパで流行した芸術の様式。建築や美術においては、複雑で華やかなのを特徴とする。

<sup>5</sup> ローマ以来の水道の技術紀元前四世紀末から紀元後三世紀初めにかけて、古代ローマでは上水道や下水道が整備されており、高度な技術を誇っていたといわれている。

**問2** 「そういう外面的な事情」とは何か。

**\* 語句**  
息をのむ

適宜、発問を置き、スムーズな読解につなげます。

課題Aは内容理解、課題Bは話し合いや発表による課題を設定しています。

うことについて、おそらく日本人は西洋人と違った独特の好みをもっていたのである。「行雲流水」という仏教的な言葉があるが、そういう思想はむしろ思想以前の感性<sup>6</sup>によって裏づけられていた。それは外界に対する受動的な態度というよりは、積極的に、形なきものを恐れない心の現れではなかっただろうか。

見えない水と、目に見える水。

もし、流れを感じることでだけが大切なのだとしたら、我々は水を実感するのにもはや水を見る必要さえないといえる。ただ断続する音の響きを聞いて、その間隙<sup>\*</sup>に流れるものを間接に心で味わえばよい。そう考えればあの「鹿おどし」は、日本人が水を鑑賞する行為の極<sup>\*</sup>を表す仕掛けだといえるかもしれない。

（出典『山崎正和著作集5 海の桃山記』一九八一年）

<sup>6</sup> 行雲流水 空を行く雲や川を流れる水のように、一切を自然に任せること。  
問③ 「それ」とは何を指すか。

\* 語句  
感性 間隙 極致



山崎正和 一九三四（昭和九）年～二〇二〇（令和二）年。劇作家・評論家。京都府の生まれ。人間を劇的存在と見る人間観をもとに広範な文明批評を展開した。戯曲に「世阿弥」、著書に『劇的なる日本人』『鷗外 闘う家長』などがある。

課題A

- 筆者は、「鹿おどし」と「噴水」とを、どのようなものとして捉えているか。本文中から対句的表現を三つ探し、それを手がかりに整理してみよう。
- 『鹿おどし』は、日本人が水を鑑賞する行為の極致を表す仕掛けだといえるかもしれない。（36・8）という理由を、本文の内容にそってまとめてみよう。

語句

次の語の対義語を調べてみよう。

緊張 無限 静止 単純

漢字

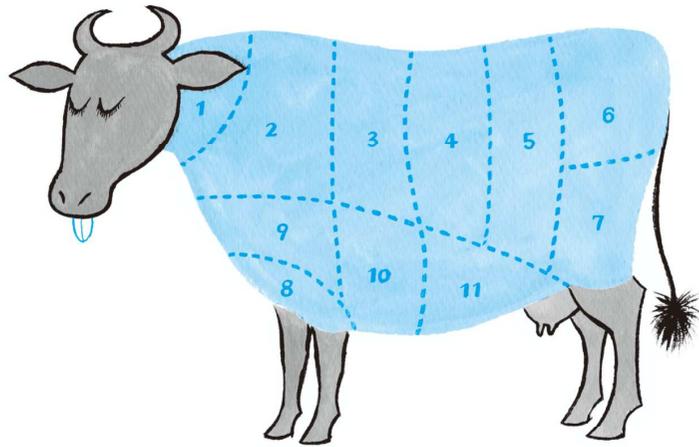
緩やか<sup>32</sup> 徒勞<sup>32</sup> 静寂<sup>32</sup> 素朴<sup>33</sup> 間隔<sup>33</sup>  
華やか<sup>33</sup> 凝らす<sup>33</sup> 大阪<sup>35</sup> 乏しい<sup>35</sup> 対象<sup>35</sup>  
鑑賞<sup>36</sup> 極致<sup>36</sup>

課題B

- この文章の構成や展開の特徴を指摘し、その効果について話し合ってみよう。

漢字・語句は教材後に取り立てることで、教材の読解・課題に集中できます。

各単元とも、**テーマに基づく複数の教材**が配置されています。



- |                    |                    |                  |
|--------------------|--------------------|------------------|
| 1. neck (首肉)       | 5. sirloin (サーロイン) | 9. brisket (胸肉)  |
| 2. chuck (肩肉)      | 6. rump (しり肉)      | 10. plate (ばら肉)  |
| 3. rib (あばら肉)      | 7. round (もも肉)     | 11. flank (わき腹肉) |
| 4. short loin (腰肉) | 8. shank (すね肉)     |                  |

## 言語は色眼鏡である

野元菊雄の もと きく お

ある言語は、その言語社会で決まった、世界をどう捉えているかの考え方を反映している。

世界というものは、一つだという考えがある。「一つ」という意味は、ここでは、誰が見ても変わらない、という意味である。つまり、純粹客観世界\*というものがあある、という信仰である。しかし、そう①いうものがあるかどうかは甚だ疑問である。日本語なら日本語を話す②というものは、日本語というもので世界を見ていることではないか。

まず、語彙の面から見るならば、あるものをどう名

づけているかは、その言語で、世界をどう捉えているかの考えを反映している。

例えば、エスキモー語では雪の微細な差に注目して、いろいろの状態の雪をいろいろ全く別の語で表現するという。牛肉のいろいろの部分ごとに違う名をつける言語、例えば英語で、チャック、リブ、ショート・ロイン、ブリスケット、プレート、フランク、サーロインなどと区別するのは、牛肉に対する、その言語の並々ならぬ関心を示している。これに対して日本語はこれらには無関心であって、動物名の牛(うし)に対して

その肉の名、牛(ぎゅう)が使われだしたのはやっと明治になってからであった。そのかわり、日本語は魚に関しては詳しい。ボラ①という魚の成長段階に応じて、例えば浜名湖②でキララ↓オボコ↓イナ↓ニサイ↓ボラ↓トドと呼び分けている。成長とともに名を変えるいわゆる出世魚である。これは、この魚についての知識の密度が濃くて、つまり世界を捉える走査線③が細かくて、微細な差も、これを別名で呼び分けなければ気がすまないであろう。

問①「そういうもの」とは何か。

- 1 ボラ 淡・塩両水域にすむ、全長約80センチメートルの魚。  
2 走査線 テレビ画面を構成する電気信号による多数の横線。

\* 語句

客観



「学びを広げる」は、各単元のテーマに関連する、**言語活動を中心とした教材**です。

学びを広げる

# 日本のお祭りはどう いうものですか？

野矢茂樹

相手のことを考える

太郎は外国に滞在中、そこで日本語学校に通っている女性と知り合った。彼女は日本語はかなりできるが、日本に行ったことはないし、日本についての知識もあまりない。あるとき、「お祭り」について尋ねてきた。日本のお祭りというのは、どういうものなのか。「お祭り」という言葉の意味はだいたいわかるが、具体的にどんな様子なのか、どういう特徴があるのか、教えてほしい。とはいえ、手短かに説明するのは無理である。思いつく

二相手のことを考える 46

ままに有名な祭りをあげてみても、ねぶた祭、竿燈まつり、三社祭、祇園祭、だんじり祭、博多どんたく、……。これでも、たぶん郷土愛に満ちた人から「なぜこれをあげない」と叱られるに違いない。さらに雪まつりや阿波踊りなども考えると、その多様性に呆然とせざるをえない。

そこで、実にさまざまな形の祭りがあることを断った上で、太郎は自分の町のお祭りについて説明することにした。それは全国的には有名な祭りなどではないが、それだけに、どこにでもある日本の祭りの一つの典型になっているだろう。そう考えて太郎は、自分の町のお祭りについて、以下のような内容の説明を与えた。

問題例文

「お祭り」と一口にいってもいろいろなものがありますが、私の町のお祭りは秋に神社で行われるも

のです。たぶん秋の収穫に感謝するという意味があるのだと思います。参道や境内に多くの屋台が並び、大勢の人が集まってもにぎやかになります。そして一番盛り上がるのはなんといつでもお神輿です。お神輿をかついで、勇ましく声をかけ合いながら町中を歩きます。これは、日本の各地で行われている、ごくふつうのお祭りの形です。

**問1** 日本語はかなりできるが日本のことをあまり知らない、そういう相手であることを考慮して、問題例文では伝わらない、あるいは説明不足になっていると思われる点を指摘せよ。

- 次に六個のポイントをあげておいた。あなたはいくつ気がつくだろうか。
- 神社とは何か。
- 参道とは何か。

15

10

5

10

5

**問2** 「神社」について「神をまつつてある場所」と説明した。しかしこの説明では、日本語はかなりできるが日本のことはあまり知らない相手には伝わらない。どうしてこれではだめか、その理由を述べ、わかりやすく説明し直せ。

**問3** 日本語はかなりできるが日本のことはあまり知らない、そういう相手であることを考慮して、次のことについて説明せよ。

- ① 参道とは何か。

15

10

5

日本のお祭りはどういうものですか？

47

さまざまな課題・活動を含む**多様なテキスト**を提示しています。

② 境内とは何か。

③ 屋台とは何か。

④ お神輿とは何か。

⑤ なぜお神輿をかついで町中を歩くのか。

別に読者の知識を問うているわけではないから、よくわからないというのであれば、調べてみてくれてかまわない。実際、なぜお神輿をかついで街中を歩くのかなどは、よく知らないという人が多いだろう。

また、「日本のお祭りはどういうものなのか」という質問に答えるためなので、あまり詳しいことは説明しなくてもよい。

では、問2を考えよう。「神社」を「神をまつつてある場所」と説明するのはどうだろうか。まず、日本語がかなりできるといっても、「まつる」という言葉の意味はよくわからない可能性が高い。別の言葉で言い直した方がよいだろう。とはいえ、どう言い直せばよいのか、

### 問3の解答例

① 参道……神社等に入っていくための道

② 境内……神社等の敷地内

③ 屋台……野外に一時的に作られる簡単な小さい店

④ お神輿……神社にいるとされる神が乗る乗り物

⑤ お神輿をかついで町中を歩く理由……神が神社を出て町の人々のもとに行くため

実は、私自身がこの解答例を考えるのにおおいに悩んだ。「参道」を「神社にお参りするための道」と説明すると、「お参り」をさらに説明しなければならぬ。この悩ましさを読者にもぜひ体験してほしい。それは、池上彰氏が「こどもニュース」で味わった体験に通じるものである。池上氏がそうして鍛えられたように、そこでおおいに悩むことがあるあなたを鍛えてくれるに違いない。

(出典『大人のための国語ゼミ』二〇一七年)

二相手のことを考える 48

悩ましい。

さらには、気がつきにくいポイントだとは思いますが、「神」とだけいうと誤解を招いてしまう。キリスト教などの一神教における“God”ではなく、神道における神である。(神道の「神」に対してはびつたりした英語がないので、英語でも“kami”ということがある。『オックスフォード新英英辞典』では“kami”の項目で“a divine being in the Shinto religion”(神道における神聖な存在)と説明されている。

### 問2の解答例

「まつる」ということがどういうことなのかわからないかもしれない。また、「神」も一神教における神と誤解されがちである。そこで、次のような説明が考えられる。「神社には、日本の昔からの宗教である神道の神がいるとされています。そして、その神にお祈りをするために人々は神社を訪れるのです。」

野矢茂樹 一九五四(昭和二九)年。哲学者。東京都の生まれ。哲学的思索をもとに、言語や認識についての論考を発表している。著書に『論理学』『論理トレーニング』、訳書にL・ウイトゲンシュタイン『論理哲学論考』などがある。

### 課題

- 1 本文を読んで気づいたこと、考えたことを発表し合おう。
- 2 本文で指摘された点に留意して、「太郎」の立場に立って問題例文を書き直してみよう。

生徒作品を例として取り上げることで、身近なところから**自分の文章を省みる**ことができます。

## 身近な日本文化を紹介しよう

二相手のことを考える 50

次にあげるのは、「身近な日本文化を紹介しよう」という授業で、ある生徒が書いた紹介文である。この紹介文を読んで次の課題に取り組んでみよう。

- ① この紹介文の構成や表現の仕方、話題や内容について気づいたことを発表しよう。
- ② この文章を参考に、各自で紹介文の読み手を想定した上で、六〇〇字程度で身近な日本文化についての紹介文を書いてみよう。



### 折り紙

生徒作品

一年二組 山本はるか

折り紙は、紙を折ることで動植物や生活用具など、さまざまな形を作りあげることを楽しむ遊びです。

などに折り紙協会があることを新聞で知って、驚きました。そこで、折り紙の歴史を調べたので紹介します。

折り紙は、紙が日本に伝来して以来、生活の中で自然発生的に起こり、やがて儀式や信仰の中で紙を折る技法が発展したといわれています。室町時代には幕府によって武家独自の礼法として正式に位置づけられ、折り目正しく折り、物を心を込めて包み渡す「折方礼法」として普及しました。江戸時代になると遊戯折り紙として庶民に広がり、八十種類の折方が考案されました。明治後期から大正時代にかけては小学校・幼稚園の教育に取り入れられ、以来今日まで子どもの遊びとして定着してきましたが、現代では知能開発教育の方法としても見直されています。

日本人の多くが、子どもの頃に体験したことがあるのではないだろうか。鶴、風船、奴さん、兜など今でも紙さえあれば折れる人も多いと思います。

この折り紙が「ORIGAMI」という国際語になっていて、イギリス、イタリア、ベルギー、オランダ

このように折り紙は、日本の伝統的な文化の一つですが、「ミウラ折り」のように人工衛星の太陽電池パネルを折りたたむために用いられたり、エアバッグの折りたたみや医療用の人工血管の折りたたみにも応用されたりしています。折り紙は現在も進化しており、奥の深い日本文化だと改めて思いました。



情報社会、環境、科学技術など、**現代的なテーマ**に基づく10の単元が設定されています。

# 七

## 科学技術と人間

現代の科学技術について調べ、レポートを書いてみよう

書くこと 



- 人がアンドロイドとして甦る未来  
谷島貫太
- アンドロイドの登場がもたらす新たな問題について考察する  
松田雄馬
- 人間にできて機械にできないこと  
機械の認識と人間の認識の違いを考える
- 学びを広げる
- 調べたことをレポートにまとめてみよう
- 生徒作品 AIは仕事の未来を変えるのか  
科学技術の発展が、私たちや私たちの社会をどう変えるか調べ、レポートにまとめてみよう



単元末には、関連図書紹介「読書の扉」を配置しています。



### 読書の扉



「陰翳礼讃」  
谷崎潤一郎

明るく照らされた室内の電灯を消すと見えてくる陰翳の中の美。小説家の流麗な文体で、西洋との比較の中から日本的な美を語る。



「縮み」志向の日本人  
李御寧

箱庭、扇子、折詰弁当など、さまざまなものを「縮ませ」る傾向が日本にはある、と筆者はいう。身近な例から日本文化の特質を語った文化論



柔らかな個人主義の誕生  
山崎正和

一九八〇年代に始まった新しい個人主義とは何か。個性や消費文化という言葉が定着した今、改めて見えてくることがある。



ことばと文化  
鈴木孝夫

「象は鼻が長い」という表現は、実は日本語独特のものだ―言葉と文化の関係を平易な言葉で解説した、言葉の研究の入門書。



美しいをさがす旅によう  
田中真知

この地球上には美しさがあふれている。美しさの基準は、時代や文化によってさまざまだ。旅に出て、それぞれの「美しい」をさがしてみよう。



はじめて考えるときのよう  
野矢茂樹・文  
植田真絵

見えているものをそのまま見ているだけでは、考えることはできない。「考える」きっかけを与えてくれる哲学絵本。

二相手のことを考える 52

#### 単元の振り返り

- 相手のことを考えて「伝わる文章」が書けたか
- 比較の方法と効果について理解できたか
- 言葉と認識の関係を理解できたか
- 日本文化について自分の言葉で適切に紹介できたか
- さらなる学びへの意欲をもてたか



単元ごとに**振り返り項目**を明示。観点別評価にもつながります。



夏目漱石のアンドロイド

や表情にも心を奪われたはずです。それらの人々は、アンドロイドが最終的にはただのモノであることとをもちろん理解しています。しかしそれでも、写真や映像や思い出の品々ではきつと引き出すことのできないある反応を、アンドロイドはかつての身近な人々から確かに引き出しているのです。

身近な人々だけではありません。勝新太郎アンドロイドは、番組中で演劇部の高校生たちに演技指導を行っています。勝が亡くなった一九九七年にはま

だ生まれでもいなかった若者たちです。演技指導の中で語られている内容は、勝が生前に折にふれて語り、また実践していた演技論を再構成したものです。しかしその演技論は、アンドロイドの口から直接語られることによって明らかに特別な伝達力を獲得しているように見えます。高校生たちは、その演技論をただの知識として吸収しているわけではありません。一人の傑出した俳優によって人生をかけて築き上げられた演技論が、まさに目の前で「語られている」というできごと<sup>8</sup>に立ち会っているのです。このできごとは、一つのかげがえのない体験として彼／彼女たちの記憶に刻み込まれたことでしょう。

偉人を甦らせるアンドロイドは、すでに亡くなった人々が残っていた足跡を、体験可能なできごととして呼び出すというポテンシャル<sup>8</sup>を有しているのです。

『天国からのお客さま』という番組は、アンドロイドが可能とする特別な魔法の効果を私たちにまざまざと見せてくれます。アンドロイドはあくまでもモノであって人ではありません。しかし精巧に作りこまれ、巧みに演出されるとき、アンドロイドには故人が部分的に憑依する<sup>9</sup>という魔法がかかるのです。そしてその魔法の正体はテクノロジーです。アンドロイド技術の研究と開発が進んでいくにつれて、これからの社会はこの魔法をより自由により精密に制御していけるようになるでしょう。今はまだ、この魔法は例外的で実験的な場面でしか用いられていません。しかしおそらくは時間の問題です。十年後になるか五十年後になるかはわかりませんが、遅かれ早かれ、「アンドロイドとともに生きる世界」<sup>10</sup>ははるかにずっと身近なものになっているでしょう。

アンドロイド制作の対象となりうるのは、もちろん有名な偉人だけではありません。ステイヴン・キングのホラー小説『ペット・セマタリー』<sup>10</sup>では、幼くして交通事故で亡くなった息子を蘇らせるため踏み越えてはならない一線を越えてしまうある家族が描かれています。アンドロイド制作技術がより進展し一般化していくと、亡くなった近親者をアンドロイドとして甦らせる、というケースが出てくることも考えられます。故人

歴史や文化にも影響を与え得るアンドロイドは、**高校生が生きる未来**にもつながるテーマです。

問3 「特別な伝達力を獲得している」とはどういうことか。

8 ポテンシャル potential  
(英語) 潜在的な力。

9 ステイヴン・キング  
Stephen Edwin King  
一九四七年〜。アメリカ  
のホラー小説家。

10 『ペット・セマタリー』  
原題『Pet Sematary』  
一九八三年に発表された  
長編ホラー小説。

\* 語句  
傑出 一線を越える



「対談」のテキストをもとに学習します。対談という表現形式の特徴について考える課題も設定されています。

## 対談 「国際貢献」ではなく 「国際協力」である 緒方貞子・池上彰

池上彰(以下、池上) 緒方さんはかつて国連難民高等弁務官(UNHCR)で難民を救うお仕事をされていました。今、理事長を務めていられる国際協力機構(JICA)は、救ったあとの人々の生活をどう改善するかという問題に取り組んでいる組織です。そう考えると、途上国支援に対する緒方さんの仕事は一貫してつながっていますね。

緒方貞子(以下、緒方) おっしゃるとおりです。途上国支援の世界において、私が行ったきたUNHCRの仕事とJICAの仕事は、それぞれの役割を果たしながら、つながっています。

ただし、二つの仕事を本当につながりには、あるいは現地の人たちを救うには、時として自分の職域を飛び越えなければなりません。一九九四年のルワ

ンダ大虐殺を機に、隣国のタンザニアやザイール(現コンゴ民主共和国)に避難した六十万人のルワンダ難民が、二年後の九六年に母国に戻った時の仕事がそうでした。

池上 何をされたのですか？

緒方 当時私が率いていたUNHCRは、争乱から逃れて国外に避難してきた難民を保護し、母国に帰還して定住させるまでが仕事でした。そこで帰還したあとの六十万人のルワンダ難民の生活については、開発援助を行っている国際機関に支援をお願いしました。けれどもなかなか援助してもらえない。



ルワンダ周辺地図



パキスタンのアフガニスタン難民キャンプで、子供たちから手作りのハンカチを受け取る緒方貞子 国連難民高等弁務官(2000年9月)

対談「国際貢献」ではなく「国際協力」である

1 国連難民高等弁務官

United Nations High Commissioner for

Refugees (UNHCR)

難民の国際的保護を主要任務とする。

2 難民 天災や戦禍、また人種や宗教、政治的意見などの理由で、迫害を受ける恐れがあるために、安全な場所へ逃れてきた人々。

3 国際協力機構 [Japan

International Cooperation Agency (JICA) 国

際社会において資金援助及び技術協力等を行う、

日本の外務省所管の独立行政法人。

4 ルワンダ大虐殺 ルワンダ共和国における民族(部族)・政治的対立による内戦の激化で、一九九

四年に起きた虐殺事件。

これにより多くの難民が隣国に逃れた。ルワンダ共和国(Rwanda)は、アフリカ東部に位置する内陸国。

5 タンザニア Tanzania

タンザニア連合共和国。アフリカ東部にあり、大陸側のタンガニーカと島側のザンジバル・ペンバ両島からなる連合共和国。

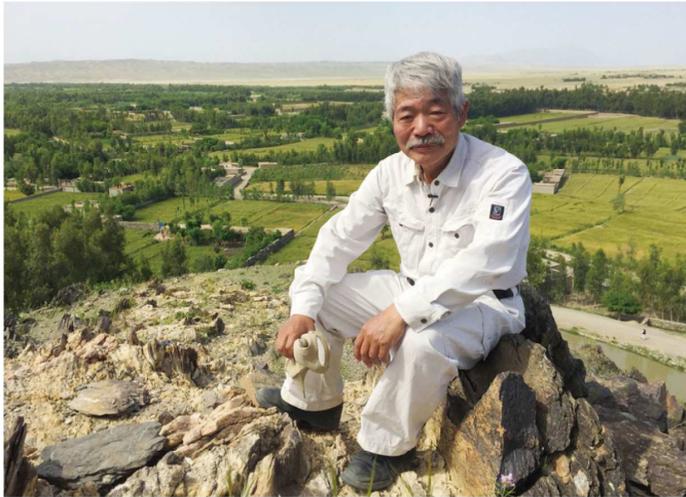
6 コンゴ民主共和国

Congo アフリカ大陸のほぼ中央、コンゴ川流域のコンゴ盆地を占める。

### \* 語句

……を機に

単元テーマや教材に関連した「コラム」を随所に配置。探究的な学びにもつながるミニ教材として使えます。



ほほ笑む中村哲医師の背後に広がるガンベリ砂漠。用水路の恩恵で一部が緑に生まれ変わった。「アフガニスタン東部のガンベリ砂漠は今、平和な静寂が支配している。かつて荒涼たる水無し地獄だった原野は、深い森が覆い、遠くで人里の音—子供たちが群れ、牛が鳴き、羊飼いたちの声が、樹々を渡る風の音や鳥のさえずりに和して聞こえる。」（『西日本新聞』2019年9月2日付朝刊より）

## コラム ガンベリ砂漠を目指せ——緑の大地を作る

中村哲 なかむね たく

誰もがそこへ行かぬから、我々がゆく。  
誰もしないから、我々がする。

ガンベリ砂漠はアフガン東部、ナンガラハル州とラグマン州との境で、幅四キロメートル、長さ二十キロメートルの砂漠である。ヒンズークッシュ山脈の支脈、ケシュマンド山系の南麓に位置し、常時流れる水系がない。夏季の積乱雲とともに、年に二、三度、信じられない量の洪水が流れるが、気まぐれである。来ない年もある。

昔から旅人を葬り去ることで有名で、地元民の者は「ガンベリのように喉がカラカラだ。」と表現する。ジャララバードからラグマンへの近道なので、事情を知らぬ者が徒歩で行こうとして死亡する例があつたと絶たなかつた。小高い丘から眺めると、砂漠の彼方かなたに緑の村落が広がつ



「死の谷」、ガンベリ砂漠

て見える。それが二十キロメートル先とは思えないほど近くに見える。気を許した旅人が進むほどに、あるいは砂丘の中に、あるいは視界の効かぬ岩の谷の中に、方向感覚を失つてさ迷う。強烈な陽光がじりじりと照りつけ、やがて水無し地獄の中で力尽きて倒れる。  
P M S (Peace)  
Japan Medical Services 平和医療団・日本）で最初の殉職者を出したのも、この砂漠だった。かつて一九八八年、診療員一人にラグマン州出身者がいた。当時ジャララ

それほど「ガンベリ砂漠灌漑」は、地元民にとって、奇跡に近いできごとだと思われていたのである。いつしか職員たちの間で、「ガンベリへ、ガンベリへ」が合言葉になつていった。次第に悪化する政情の中で、この仕事が一縷の希望となつた。P M S職員は住民と一体になり、必死で働いた。

（出典『天、共に在り アフガニスタン三十年の闘い』二〇一三年）

中村哲 一九四六（昭和二〇）年〜二〇一九（令和元）年。医師・P M S 総院長。福岡県の生まれ。国際NGO「ペシャワール会」現地代表として、戦乱や干魘で荒廃したアフガニスタンとパキスタンで、市民とともに人道・復興支援に尽くした。

資料編の「表現の技法」は、国語総合教科書でも好評だった「読解から表現へ」を引き継いでいます。

課題

③全ての情報が正しいとは限らない。他のページや書籍など、複数の資料を使って確認しよう。

「食」に関して、今どのようなことが話題になっているのか、調べてみよう。

②ページの表示順は、コンピュータ・プログラムによって決められる。最初にあるからといって信用がおけるとは限らない。

①検索しても何も見つからなかったり、関連するページが多すぎたりして、必要な情報にたどりつけないことがある。そのときは、検索語を複数入力するなど、検索条件を変える必要がある。

3 インターネットで調べる

1で書き出した言葉をインターネットの検索サイトに入力すれば、関連するウェブページを多数見つけることができ、そこから情報を得ることができる。ただし、次の点に注意が必要である。

には、自分が欲しい情報が書名になっているとは限らないということに注意し、1で書き出した言葉を使って、広い視点で探すとよい。

表現の技法④比較

「水の東西」の筆者は、日本文化を考える材料として、「鹿おどし」を例にあげている。鹿おどしをとおして日本独特の水の捉え方を語ろうとしたのである。

「と」ところで、もしこの文章が「鹿おどし」や「滝」など、日本の例だけで語られていたとしたらどうだろう。おそらく、読み手は既知の日本という枠の中だけで思考をめぐらせることになるだろう。

しかし、筆者は、そこに西洋の「噴水」を登場させ、両者を比較しながら語っている。その結果、再び「鹿おどし」や「滝」に視点が戻ったとき、読み手は、これまでの枠の中では見えなかった新しい要素をそこに発見する。

このことは「言語は色眼鏡である」においても同様である。筆者は、日本語と他の言語との比較をとおして「外国語を学ぶ」ということは、母語と違ったもう一つの色眼鏡でこの世界を見る時、同じ客観世界は全く別に見えることを知ることにある」という主張を導いている。

表現の技法

発表などのモデル例・具体例も豊富に提示しています。

「やさしい日本語」で交流しよう —多文化共生社会の実現に向けて—

1年5組 高木舞 中野大輔 浜川達郎 山本はるか

1.〇〇市の外国人住民の現状 (〇〇市多文化共生課のデータに基づく) 序論1(テーマの背景)

〇〇市の外国人住民はさまざまな国からやってきている。また、外国人住民数は増加傾向にある。



※〇〇市の総人口:51,459人、うち外国人住民数2,627人(外国人住民割合:5.1%)  
 ※〇〇市外国人住民が話す言語:英語・ポルトガル語・タガログ語・タイ語・ベトナム語・ヒンディー語・マレー語・ミャンマー語・中国語・韓国語・モンゴル語・ペルシア語・ネパール語・スワヒリ語など。

2.〇〇市の多文化共生社会の実現に向けての課題 序論2(テーマに基づく問題設定)



- ①ゴミ出しルールや生活サポートなどの生活情報が不足している。
  - ②多言語表示が十分でない。
  - ③同じ出身国住民でコミュニティが形成され、コミュニティ間の交流が見られない。
  - ④日本語能力が不足しているため、日本人住民との交流が進まない。
  - ⑤日本人の差別意識を感じることがある。
  - ⑥多様な宗教があることを理解してほしい。
- アンケート調査等の活用

※高木・中野・浜川・山本による街頭聞き取り調査(調査回答者数28人)

3.多言語での対応と「やさしい日本語」 本論(分析・考察)

**多言語での対応**

〇〇市では、外国人住民への行政・生活情報の提供や相談を11言語以上で行う一元的窓口を設置し、ボランティアによる通訳や多言語音声翻訳アプリなどを活用して外国人住民への行政サービスを展開している。

↓

生活情報不足の解消にはつながるが、日本人住民との交流には結びつかない。

**「やさしい日本語」**

「やさしい日本語」とは、日本語が十分に理解できない外国人に対して、簡単な言葉で、短くはっきりと話す日本語のことである。「災害時対応マニュアル」など、外国人を情報弱者としないためのさまざまな取り組みが行われている。

↓

災害時だけでなく、ふだんから「やさしい日本語」で外国人住民と接することで、外国人住民と日本人住民の交流を活発にしていける可能性がある。

4.「やさしい日本語」で交流しよう 結論(主張)

**「やさしい日本語」の話し方(例)**

①聞き手である外国人を意識する  
 どうしたら伝わるかを常に意識して話す。「回収→集めること」「古紙→いらなくなった紙」など、わかりやすい日本語に置き換える。

②短い文で、語尾まではっきり発音する  
 接続語を使った長い文章は理解しづらい。日本語は文末で意味が決まるので、最後まではっきりと言いつける。

③カタカナ語(和製英語)は使わない  
 本来の英語と異なる意味で使われるケースがある。

④文化の違いを意識する  
 和暦は用いず、西暦で統一する。

〇〇市多文化共生課の丸山幸子さんによれば、英語圏以外の外国人には、英語よりも「やさしい日本語」の方がコミュニケーションを取りやすいという。また、「言葉の壁」と「心の壁」は一人ひとりの努力で超えられるとも語っている。

「やさしい日本語」で外国人住民と接することで、誰もが暮らしやすい〇〇市を実現しよう。

具体的な提案

象徴的なイラストで効果を上げる

(横浜市「やさしい日本語」検討会作成『やさしい日本語』で「伝える」などを参照した)

ポスターセッションで発表しよう

いずれの評論も、比較という仕掛けをうまく使って、日本文化の特質、言語と世界認識の関係を明らかにしようと試みているのだ。

このように、物事は比較することによってその本質がよく見えることがある。評論でみられるこの手法に焦点をあて、さらにその効果について考えてみよう。

例えば、近代社会について語ろうとした場合、対となる伝統社会と比較することによって、よりいつそうその姿を鮮明にできることが期待できる。また、イルカの生態について語ろうとした場合では、同じクジラ目として似た存在のクジラと比較し、微妙な相違点を示すことで、その特徴をより詳しく説明できるはずだ。

評論ではしばしばこうした比較によって何らかの概念を明らかにしようという手法が用いられるが、これは評論に限らず、日常生活において何かをわかりやすく説明する際や説得力のある議論を展開する際にも有効な手法である。

また、比較は二者間に限らない。さまざまなものを比較してみることで、何らかの傾向が見えてくる場合もある。旅に出る、いろいろな仲間と出会う、さまざまな本

を読む、などによって、新たな考え方が築かれるのも、知らず知らずのうちに比較という行為が行われているからだ。

物事を多面的に捉える「比較」は、新しい考え方の枠組みを私たちに発見させてくれるのである。

#### 課題

1 日本と外国の文化の違いについて、具体的な例をあげながら、気づいたことを話し合おう。

2 次の例から一つ選んで両者を比較してみよう。そこからどんなことが見えてくるか、話し合ってみよう。

例 北半球／南半球

アナログ式の時計／デジタル式の時計

落語／漫才

使い捨て／リサイクル

弁当／給食

科学／文学

本編教材などから、具体的な表現方法を学びます。読後の課題も設定されています。

課題文を読んだうえで自分の考えをまとめる「課題文型小論文」にも取り組みます。

## 課題文型小論文

ここでは、与えられた文章をふまえて、自分の考えを文章にまとめる課題文型小論文について考えてみよう。

### 課題

次の内田樹「なぜ私たちは労働するのか」をふまえて、「労働」についてのあなたの考えを、六〇〇〜八〇〇字程度の文章にまとめてみよう。

### なぜ私たちは労働するのか

内田樹

「やりがいのある仕事」を求めて離職・転職する若者が多い。ニートや非正規雇用が問題になるときにも、「若者にもっと『やりがいのある仕事』を制度的に提供できれば、問題は解決する」という言い方をするメディア知識人は少なくない。

だが、「やりがいのある仕事」とは何のことなのか。

「やりがいのある仕事」という言葉は、年長世代と若者世代の間では語義を異にしているように私にはみえる。

年長世代において、「やりがいのある仕事」というのは、「どこかで誰かの役に立っている仕事」のことを意味している。その労苦の「受益者」を想定し、彼らからの笑顔や感謝を想像することが労働のモチベーションを高めてきた。

だが、この定義は「もっとやりがいのある仕事があった」と言って、例えば人気の外資系のコンサルタント会社に転職したり、<sup>2</sup>デイトレーダー<sup>1</sup>になったりするのはいいが、そこで自己利益のみをひたすら追求する人々には適用できない。というのは、そういう人たちが「やりがいのある仕事」という言葉で指し示しているのは、その労苦がもたらす利得を優先的・排他的に受益するのはほかならぬ「私ひとり」であるような仕事を意味するからである。仕事をしている当の本人が、その仕事のもたらす利益の排他的受益者であるような仕事、それがあ